

住所

電話

動 産 り 災 申 告 書

[illegible]

記入例

り災した世帯ごとに提出してください。
ボールペンで記入してください。

別記様式第5号（表）（第23関係）

申告書を提出する日 令和 3 年 4 月 5 日

動 産 り 災 申 告 書 記 載 要 領

大手町消防署長 殿

押印の必要はありません

住 所 千代田区大手町〇丁目×番△号

申告者 職業（職）会社員 電話 03-0000-0000

氏 名 東消 太郎

所有者：持ち主
管理者：管理会社等
占有者：賃借人

火災があった日

動 産 り 災 申 告 書

1	り災年月日	令和3年4月1日			り災物件と申告者との関係	所有者・管理者・占有者
	り災場所	千代田区大手町 〇丁目×番△号				
2	世帯主	氏 名	続柄	年 齢	性 別	氏 名
		東消 太郎	本人	45歳	男	東消 太郎
		東消 花子	妻	42歳	女	東消 花子
				歳	男・女	
3	加入している火災保険	契約会社名		契約年月	保険金額（万円）	
		練馬〇△損保（株）		平成2年4月	不明	
4	品 名	数量	り災別	損害見積額 又は 購入時価格（円）		
	(例) ベッド	2	焼損・爆発・その他	200,000(使用 5年)		
	(例) スーツ	8	焼損・爆発・その他	240,000 (使用 年)		
	ノートパソコン	1	焼損・爆発・その他	140,000(使用 2年)		
	こたつ	1	焼損・爆発・その他	15,000(使用 5年)		
	ベッド	1	焼損・爆発・その他	50,000(使用 5年)		
	布団	1式	焼損・爆発・その他	20,000(使用 5年)		
	絨毯	1	焼損・爆発・その他	30,000(使用 5年)		
	衣装ケース	2	焼損・爆発・その他	8,000(使用 5年) 5,000 (使用 年)		
	衣類	10	焼損・爆発・その他	10,000 (使用 年)		

本人を含め全ての世帯人員について記入してください。

加入している火災保険 全てについて記入してください。

品名ごとに数量を記入してください。

分からない場合は「不明」と記入してください。

誤記は二重線で訂正してください。

焼：物が燃えた場合
爆：爆発により壊れた場合
他：消火により濡れたものや
火災の煙により汚れた場合

損害見積額又は購入時価格を記入
点線の左枠：使用年数と被害の程度を考慮し、損害額を見積もり記入してください。
点線の右枠：見積もりができない場合は購入時の価格と使用年数を記入してください。（使用期間は1年未満を切り捨て整数で記入）

(1の欄)

り災物件と申告者との関係は、当てはまるものを○で囲んでください。

(3の欄)

- 火災保険の加入が数社ある場合は、全て記入してください。
- 保険金額は、契約会社別に万単位で記入してください。

(4の欄)

- 品名・数量の欄は、動産の品名ごとに数量を記入してください。
例) 背広3、くつ類30、下着類50、食器類150、本300、化粧品80等
- り災別の欄は、当てはまるものを○で囲んでください。
(1) 焼 損：火災によって焼けた物及び熱によって炭化、溶融、破損したものなど
(2) 爆 発：爆発により、壊れたものなど
(3) その他：消火のために受けた水損、破損、汚損など、煙により汚れたものなど、運び出すときに壊れたものなど
- 損害見積額又は購入時価格の欄は、り災した物件の使用年数等を考慮して、被害の程度により損害額を見積もり、点線の左欄に記入してください。
また、損害額が見積もれない場合は、点線の右欄に購入時の価格と（使用 年）内に使用年数を記入してください。

なお、使用年数は整数とし、1年未満の端数は切り捨てとします。

備 考

- この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。
- この申告書は、動産のあった建物ごと、世帯ごとに提出してください。
- この申告書は、り災した日から起算して7日以内に提出してください。
- あなたに連絡する場合の連絡先の電話がありましたら、その電話番号を記入してください。
- 火災によるり災証明を発行する場合、この申告書が出ていると早く発行することができます。
- この申告書で分からないことがありましたら、下記消防署までご連絡ください。

消 防 署

出張所

電 話

別記様式第5号の2 (第23関係)

[illegible]